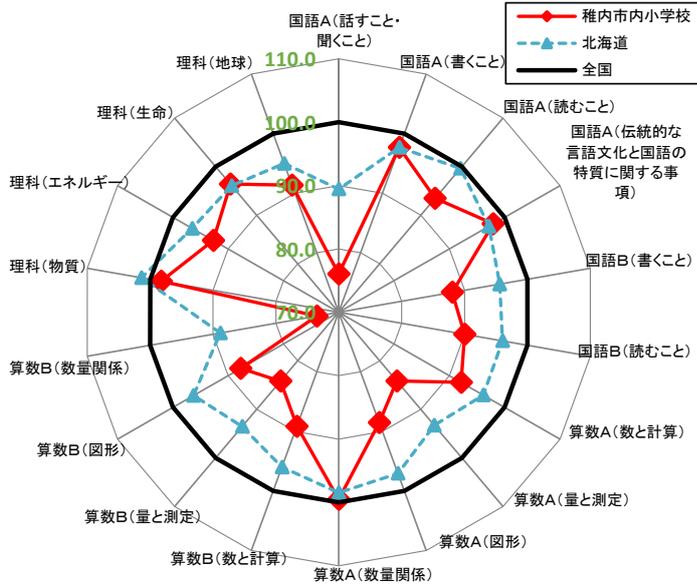


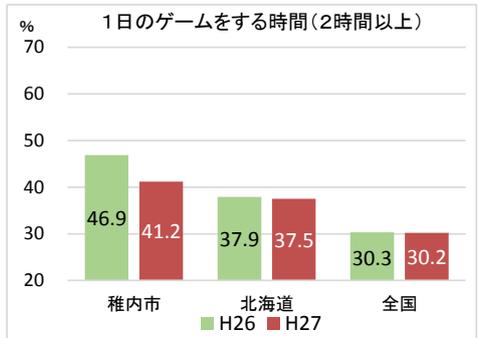
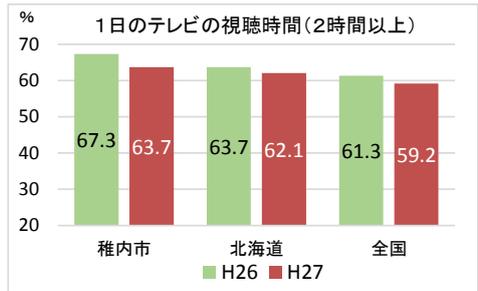
# ■ 稚内市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:10校、児童数268名)

## 【教科全体の状況】

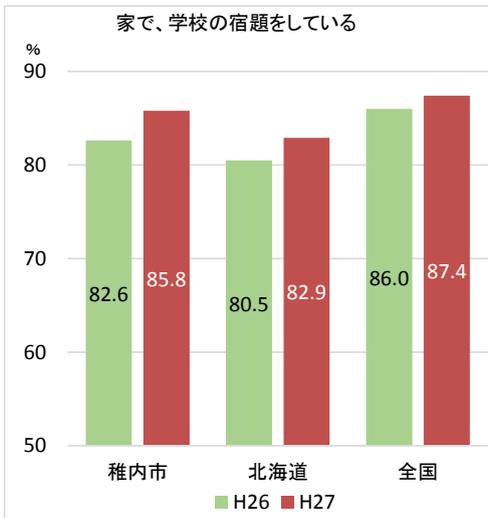
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



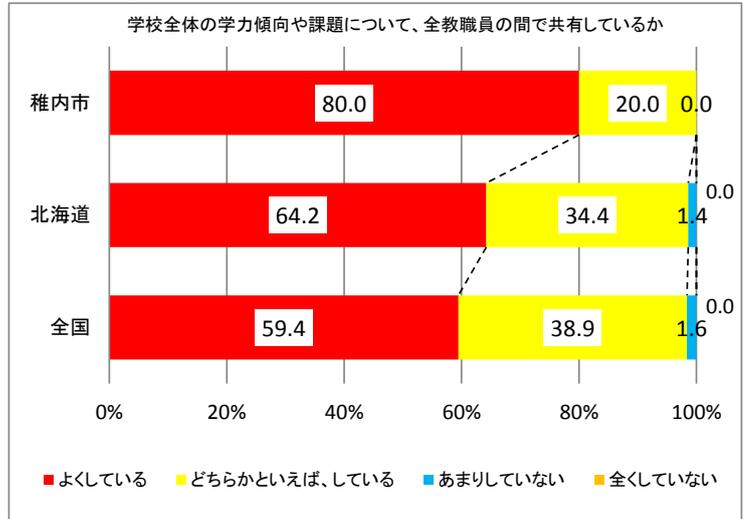
## 【児童質問紙調査】



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	○ 国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数Aでは「数量関係」、理科では「生命」で全道を上回っている。	○ 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有し、指導や取組を行った結果、テレビの視聴時間やゲームをする時間が改善の傾向にあり、家で宿題をしている児童は、増加傾向にある。
児童質問紙	○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、全道を上回っている。 ○ 「1日のテレビの視聴時間」や「1日のゲームをする時間」では、「1日2時間以上」と回答した児童の割合が全国より多くなっているが改善の傾向にある。	
学校質問紙	○ 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していると回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。	

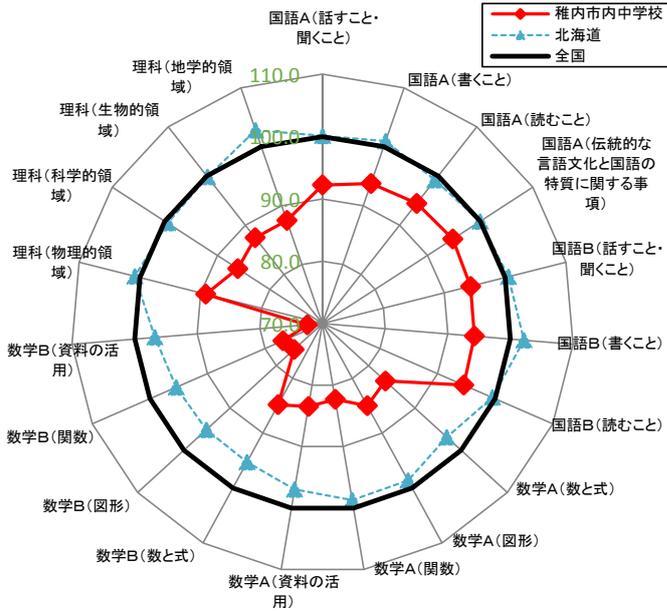
## 【稚内市の学力向上策】

- ◎ 第3、4学年を対象とした学校教育指導員(退職教員等)による「放課後学力グングン塾」の実施
- ◎ 第1、2学年を対象とした市費負担教員の配置による少人数指導の実施
- ◎ 巡回指導教員活用事業及び授業改善推進チーム活用事業による授業改善の推進
- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携や一貫教育の推進

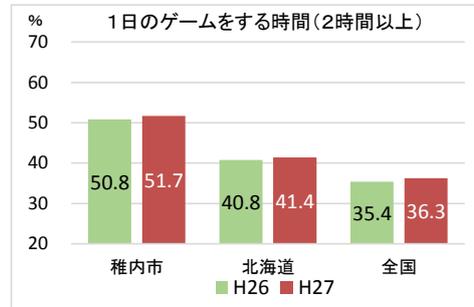
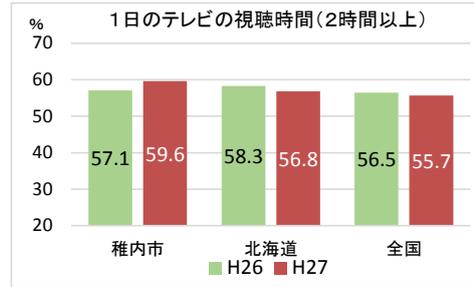
■ 稚内市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、生徒数280名)

【教科全体の状況】

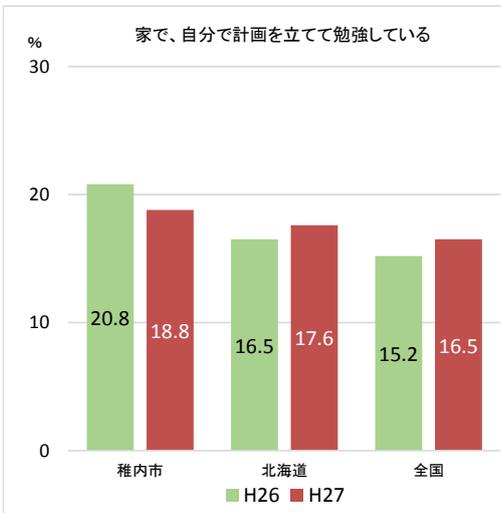
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



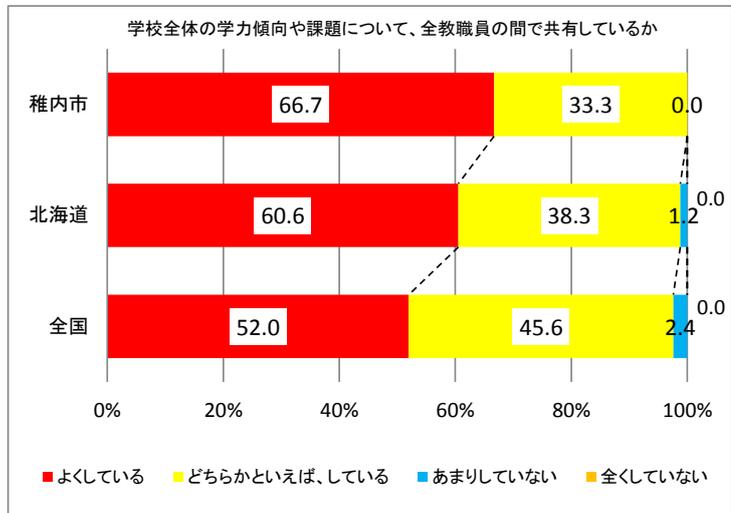
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Bでは「読むこと」が他領域と比べ全国に最も近くなっている。数学Bでは「資料の活用」が最も全国との差が大きくなっている。	○ 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している学校の割合が全道、全国より高い。また、家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒は、全国や全道と比べて高い。
生徒質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「1日のテレビの視聴時間」や「ゲームをする時間」では、「1日2時間以上」と回答した生徒の割合が全国及び全道より多くなっている。	
学校質問紙	○ 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していると回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。	

【稚内市の学力向上策】

- ◎ 学生ボランティアによる放課後学習の支援
- ◎ 「夢広がる学校づくり推進事業」による学校独自のテキスト(問題集)の作成などの取組
- ◎ 土曜授業推進事業による授業改善の推進
- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携や一貫教育の推進